



メーカーの「いま」や FRONTIERS では語られなかった開発秘話などをお伝える企画「メーカーだより」。
第10回目は、エクソソーム研究用製品をいち早くライフサイエンス市場に投入した System Biosciences 社（以下 SBI 社）について、同社営業部長の Enal Razvi 博士より会社設立から 2022 年現在に至るまでの歴史と今後についてお話をいただきました。

SBI 社は試薬製品の開発から受託サービスまでを提供します

SBI 社は、ゲノムワイドの shRNA ライブラリーの開発からスタートしました。このライブラリーは、*in vivo* で特定の遺伝子をノックダウン（siRNA を使用）し、遺伝子の機能や細胞内シグナル経路を解析するために設計されました。これは、2004~2005 年当時において最先端の製品でした。その後の数年間で、SBI 社は創業者兼会長の Kenneth Fong 博士とゼネラルマネージャーの Joseph Huang 博士の指揮の下で成長を遂げました。そして、2000 年代にレンチウイルスを用いた遺伝子導入のためのツールの販売を開始しました。Fong 博士と Huang 博士は、この分野への製品拡大が正しい道だと確信し、この分野に関連する様々な製品・サービスを開発しました。製品の販売が軌道に乗ってほどなくして、SBI 社はアカデミアやバイオテクノロジー企業、製薬企業から、研究委託業務に関する相談を受けるようになりました。その相談がきっかけとなり、SBI 社は受託サービスの提供も始めました。

研究者の要望がエクソソーム回収キット開発のヒントに

2009 年、私たちはコロラド州デンバーで開催された AACR（米国がん学会）に参加し、そこで研究者からエクソソームに関する悩みを耳にしました。その声をもとに、SBI 社はエクソソームを沈殿させる試薬 ExoQuick をいち早く発売し、これをきっかけにエクソソーム研究用製品とサービスを提供することに注力しました。現在 SBI 社は、この分野の製品とサービスで世界中に知られており、世界中の製薬会社・バイオテック企業・アカデミアのお客様に高価値かつ幅広い製品を提供しています。SBI 社はこれからも細胞外小胞や遺伝子導入の分野で革新的な製品開発を決して止めず、お客様の需要に応える幅広い技術・製品・受託サービスを提供し続けることを信条としています。



製品開発に注力しお客様をサポートし続けます

バイオテクノロジー業界は熾烈な競争状態にあり、ライフサイエンス研究用試薬を扱う企業は、その生き残りや成長のための方法を模索しています。SBI 社には、このような市場の要望を満たす科学者の血が脈々と通っています。私は、過去 15 年間に渡って SBI 社に勤めてきましたが、これまでに様々な出来事がありました。1 つ確かなことは、それが晴れた日であろうと暗い曇天の日であろうと、Fong 博士と Huang 博士の方針はブレることはありませんでした。彼らにとって、製品開発に注力しお客様をサポートし続けることが、最も重要なメッセージなのです。

私は 2005 年 2 月 1 日の朝、カリフォルニア州マウンテンビューにある SBI 社のオフィスに到着し、Scott Artis と Alex Chenchik に玄関で迎えられました。彼らは SBI 社の初期メンバーであり、Alex は創業科学者でした。到着するや否や、「これから次々に新製品を発売して、どんどん注文が入ってくるから、時間を無駄にする余裕はないぞ」と言われました。

私は、フナコシと一緒に仕事ができることを光栄に思います。会議室でフナコシと代理店契約を締結したのが、まるで昨日のこのようです。SBI 社は代理店をサポートすると同時に、その活動に期待しています。従業員はもちろん、代理店、さらには研究者も SBI 社の事業に関わることを期待しています。



Enal Razvi 博士



Dr. Kenneth Fong,
Founder and Chairman

ライフサイエンス研究用試薬を扱う会社として成功を収めた旧 Clontech 社の創業者であり、同社の成長にも貢献したバイオテクノロジー業界の伝説的人物の一人。



Dr. Joseph Huang,
General Manager

細部にもよく目を配る科学者であり、旧 Clontech 社のゼネラルマネージャーとして堅実かつ安定運営を行った。

SBI 社の運営方針

最大の危機は目標が高すぎて失敗することではなく、低すぎる目標を達成することだ。



私たちは毎日お客様へ見積りを出すこと、注文書を受け取ること、有用な製品を提供することに誇りを持っています。そして私たちの活動が、お客様の成果につながってほしいと思っています。2022 年現在、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後を見据えて Fong 博士と Huang 博士の指揮の下、より良いサービスをお客様に提供するため、毎日挑戦し続けています。

SBI 社のチームは、お客様および代理店の皆様に感謝すると共に、Fong 博士と Huang 博士が過去 20 年近くに渡って私たち社員に与えてくれたサポートに感謝し、未来の 10 年を楽しみにしています。

販売店

funakoshi



フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号
https://www.funakoshi.co.jp info@funakoshi.co.jp

試薬: reagent@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1620

機器: kiki@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1619

受託: jutaku@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1645